

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス メロディ♪		
○保護者評価実施期間	令和6年2月1日		令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和6年2月1日		令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員を配置しておりマンツーマンに近い形で専門的支援を受けられる。	職員の資質向上を図るため、法人内外の研修に参加し、また事業所において毎月テーマを決め人権やコミュニケーション、支援の仕方や遊び方やほめる等の研修を行い専門性を高められるように取組んでいる。	より専門性を高めていけるように、外部研修(言語療法士や作業療法士等)を受け、ペアレント(ティーチャーズ)トレーニング等を行っていく。
2	長期休暇時と平日の活動内容が充実しており、室内活動だけでなく園外活動や外出等も取り入れた活動プログラムとなっている。	長期休暇時や土曜日は散策やドライブ、1日かけての遠足や外出等様々な場所に行けるように計画を立案している。室内活動では季節に応じた遊びや制作や壁面作成等毎月テーマを決め活動内容が偏らないように工夫している。	利用者や家族のニーズを聞きながら在宅では取り組めない活動や買い物、外出等を計画していく。
3	他事業所や相談支援事業所、学校、他機関との連携が図れている。また成人施設とは事業所に併設されており短期入所や産業実習含めて連携が取れやすい。	利用者やご家族の様子についての情報交換・共有を関係機関連携等を用いながら行っており、学校行事へも積極的に参加している。また、成人施設の職員と連携が取れやすい環境にあり卒業生や校外実習時は情報共有を行っている。	学校行事への参加や関係機関連携連携の実施。成人施設との情報共有・情報交換を行い卒業生をサポートしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアル(事故防止・緊急時対応・防犯・感染症等)作成や発生を想定した訓練、災害発生時の訓練等を実施しているが保護者の周知が十分ではない。	家族の集いや文書、Instagram等を通して保護者に周知を行っているが理解十分に理解を得られていない。	現在の取り組みに加え、面談時に個別に説明を行い同意をいただく等周知方法を検討する。
2	地域の子どもの交流や地域に開かれた事業運営ができていない。	重度心身障がいがある子ども達の状態を鑑みると、必ずしも地域の子供達との関わりが必要とは思われない。	外出や散策等通しての地域とのかかわりやきょうだいや地域の小学校、他事業所との交流などを今後検討する。
3			